

みなみろうれんだより

第9号 春

～みなみろうれんだより 第9号 発刊にあたって～

「コロナの長いトンネル、いつ抜ける」

令和2年度は、コロナ感染拡大で、世の中に大きな影響を与えています。

このような状況の中で、町老連では、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、長い経験の中での知識と経験を生かし、明るい長寿社会と福祉向上に努めることを目標に活動に励んでいます。

本年度予定された行事も無事終わりました。コロナ感染が収束に至っていない中でしたが、感染拡大防止に十分配慮しつつ行いました。特に本年度は、全ての活動を屋外で行い、天候にも恵まれて好評をいただきました。また、活動再開した湊老人クラブは県老連活動再開表彰を、吉祥、手石、下流、湊の各クラブは会員加入に成果を上げ、県老連会員加入促進運動表彰が授与されました。各クラブの今後の活動にさらに期待したいと思います。

毛倉野昭和の会の活動、町老連の活動についていくつか紹介致しますので、皆さまのご感想を頂ければ幸いです。

南伊豆町老人クラブ連合会 会長 鈴木 忠 蔵

～毛倉野昭和の会の活動紹介～

毛倉野老人会は長らく休会しておりましたが、町老連の役員さん、地域の方々から活動再開してはどうかとの話が出てきました。そこで、地区の役員さん、民生委員さんを含め、地域の方々に一生懸命話を頂き23名の方々に入会してもらい、平成30年6月に再出発することが出来ました。役員を決め規約を作り、毛倉野老人会ではなく「毛倉野昭和の会」と呼び名を変えようということになり、毎月10日に定例会を行うことや、年2回、春と秋に遠足(バス旅行)をすることなどを決めました。平成30年には県老連活動再開表彰、令和元年には会員加入促進運動表彰を受賞しました。

昭和の会の活動として、毎年、南上小学校にしめ縄づくりの講習に行っております。今年度も12月19日に、会員の有志3名が子供たちに教えに行きました。校長先生始め、5・6年生の子供たちと父兄さんを含めて15名が参加してくれました。子供たちも一生懸命にしめ縄作りに挑戦して分からない所や難しい所を丁寧に教え、出来上がった時にはとても嬉しそうでした。



グラウンドゴルフ大会

9月25日、青野川ふるさと公園において、第16回グラウンドゴルフ大会を開催しました。雨天順延もありましたが67名の参加者が午前午後に分かれて4ゲーム行い勝敗を競いました。

日頃の練習の成果を発揮し、ホールインワンも19名が達成し、年々スコアが高くなっています。

コースの所々に消毒を置いたり、ソーシャルディスタンスを保つよう配慮して大会を開催しました。青空の下、参加者全員いきいきと楽しくプレーできました。



スポーツ大会

10月16日、差田グラウンドにおいて、第45回スポーツ大会を開催しました。町内各地区から18チーム、約250人が参加し熱戦を繰り広げました。

今回は新型コロナ感染拡大防止のため密になる種目は省いて、全9種目で勝敗を競い、優勝は石井、準優勝は仲木、第3位が下小野という結果となりました。

会員が集まる機会が少ない状況の中、和気あいあいと親睦の図れる大会となりました。



輪投げ大会

11月6日、青野川ふるさと公園において第30回輪投げ大会を開催しました。今回の大会は新型コロナ感染拡大防止のため、初めて屋外で開催しました。

風の影響を心配していましたが、晴天の下風も穏やかで、参加した24チーム、選手約140名が日頃の練習の成果を発揮しました。

Aブロックでは下流チームが連覇を達成。Bブロックは手石チームが優勝しました。



老人八訓

- ①くよくよするな腹立つな（悟り）
- ②常に勉強夢を持て（希望）
- ③歩け働け大気も葉（運動）
- ④好き嫌いなく腹八分（食事）
- ⑤適度に休養無理するな（休養）
- ⑥姿も若く気も若く（心構え）
- ⑦打ち込む娯楽と趣味を持て（趣味）
- ⑧話せる老人役に立て（奉仕）

